

2020年9月15日

島根県臨床内科医会会員の皆様へ

島根県臨床内科医会

会長 小林祥泰

新型コロナウイルス対応に関する緊急アンケート調査

この度はご多用の中、新型コロナウイルス対応に関する緊急アンケート調査に回答頂きありがとうございました。短期間の調査にもかかわらず49名の会員から回答を頂きました。アンケートの結果を要約させて頂きましたのでご報告致します。詳細な集計は別にエクセルの表にグラフと共に作成しておりますのでご覧ください。

1. 発熱、咳等でかかりつけ又は初診患者が受診する場合の対処

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1) 発熱等あれば原則として電話してから指定の時間に来て貰う。 | 63% |
| 2) 上記の場合、電話で直接、感染症対応病院に行くよう指示する。 | 17% |
| 3) インフルエンザの可能性が強いと思った場合は通常通り受診させる。 | 10% |
| 4) その他(記入) | 6% |
| | 無回答 4% |

この設問に対する回答は概ね予想通りでしたが、自院で受け付けないという方も17%ありました。かなり警戒しておられることが分かります。

2. 指定の時間に受診、または直接外来に来た上記患者への対応

- | | |
|---|--------|
| 1) 車の中もしくは隔離した場所等で待機させ、その場所で防護服を着て新型コロナウイルス抗原検査とインフル抗原検査を行う。 | 31% |
| 2) 車の中もしくは隔離した場所等で待機させ、その場所で防護服を着て新型コロナウイルス抗原検査のみを行う。 | 0% |
| 3) 防護服無しでマスク(フェイスシールド)と手袋装着して院内、または車の中や隔離した場所等でインフル抗原検査のみを行う。 | 24% |
| 4) その他() | 39% |
| | 無回答 6% |

新型コロナウイルス抗原検査とインフル抗原検査を行うという回答が31%、インフル抗原検査のみが24%ありましたが、その他と無回答で45%を占めており実際に来院された場合の対応はまだ分かれているという印象です。

が大きいことを示しています。この結果が診療所での抗原検査が普及しない理由を表している様に思います。

今回の調査でインフルエンザ流行期における新型コロナウイルスへの対応に診療所では慎重な対応を考えており、現時点では国が考えているような医師会レベルでの統一的な対応は難しいことを示しています。今後の新型コロナウイルスへの感染動向およびワクチンや治療薬開発によって状況は大きく変わっていくと思いますが、この結果が現時点での皆様の新型コロナウイルスへの対応に少しでも参考になれば幸いです。